

# 会社経歴書 特徴

株式会社と

と

## 会社名

### 株式会社と

# と、デザイン。

デザインの手法を使い、地域に新しい文化と生活を生み出すことを目指すデザイン会社です。

社名は、デザイン自体が中心になるのではなく、

あくまで主題に対してデザインでアプローチしていく (design to) という意味と、

他者“と”一緒にしごとをしていく (with) という意味、

そしてジャンルや所属を超えていくことで新しい価値を生み出す (and) の意味が込められています。

代表取締役 **丸山 晶崇** Masataka Maruyama

東京都生まれ。「国立本店」の店長を経た後、2011年5月に国立市谷保に「やぼろじ」を共同で立ち上げた後、2013年7月よりやぼろじ内にてギャラリー兼ブックショップ『circle』の運営を始める。美術館のビジュアルディレクションなどアート関係の仕事を進めると共に、デザイナーとしての公開制作や、アーティストとの共同企画などにも積極的に参加。「デザイナーとは職業ではなく生き方である」をモットーに、デザインを軸にしたその周りの仕事を進めている。長岡造形大学非常勤講師。

代表取締役 **洪 華奈** Hong Hwana

滋賀県生まれ。2011年より、西荻窪の西荻紙店のシテンチョウとして展示の企画、店舗の運営に携わる。同年コミュニティデザインをフィールドとする「studio-L」に参画。立川市子ども未来センターで多数のコミュニティプログラムの実施支援を担当。現在は関東を中心に計画策定、特産品開発、中心市街地活性化など様々な地域の課題解決プロジェクトに携わる。その一方で展示会の企画進行や商品のブランディング、流通のサポートなどコーディネーターとしての活動にも取り組んでいる。

所在地：東京都国立市東1-15-18 3A

設立年月日：平成29年1月26日

資本金：300万円

---

### ■プランニング・ディレクション・グラフィックデザイン事業

- 美術館等の展覧会広報物・図録デザイン
- 店舗・大学・イベントのグラフィックデザイン
- 雑誌や書籍などのデザイン
- コンテンツプランニング・プロデュース

### ■パブリッシング事業

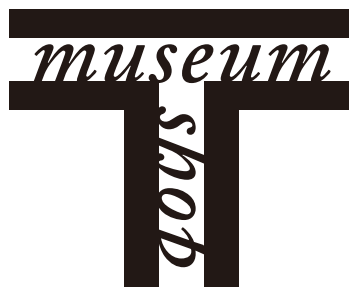
- 若手を中心としたアーティストの作品集のデザイン・出版  
(累計9冊、うち2冊が全国の書店、ギャラリーにて巡回展を開催中)

### ■コミュニティデザイン

- 年間5-7件のコミュニティデザイン事業(株式会社studio-Lとの協業)
- 社会課題解決に資するコミュニティデザイン(都内3件、ほか4件の自治体からの委託業務)

## 店舗の特徴

The shop for local culture and books.



地域の文化と本のあるお店  
museum shop T

作家やデザイナーの作品は、日常からインスピレーションを受けてつくられています。そして本は、新しい考えや文化を知る扉のようなものです。作品と本、この2つを置くことで、地域に生活する人たちと、地域の作家やデザイナー、メーカーとの文化の交差点となることを目指し2017年11月3日にオープンしました。多摩地域の作家やブランドの商品をセレクトし販売。また、アート・デザイン関連の書籍を中心とした本が販売されるショップスペースと、月1回ペースで開催される企画展のギャラリースペースがあるのが特徴です。このお店を軸に文化が交わり、生まれ、広がる、地域の新しいミュージアムになることを願い「museumshop T」と命名しました。



## 1. 年間12本以上の企画展実績

これまでに26本の企画展を行い、作品を販売しています。多摩地域に所縁がある作家を紹介すること、多摩地域に新たな作家を紹介すること、この二つを軸に現代美術から写真、デザイン、イラストレーションに至るまで多種多様な展覧会を開催しています。トークイベントやワークショップも企画し、作家の感性に触れる機会づくりも行っています。

実例:

- 池田光宏「眺めのいい近所」では、ゲストに三田村光土里(美術家)、神山亮子(府中市美術館学芸員)を迎えトークを開催
- 「私の秘密の花 ―西沢立衛のガーデン&ハウス」では、ゲストに西沢立衛、鈴木理策を迎えトークを開催
- 原田郁「記憶の断片を地図へと置き換えて」では、東京国立近代美術館企画課研究員長名氏とのギャラリートークを開催
- 「デザインとコミュニティ」(武蔵野美術大学出版局) 刊行記念トークイベント「デザインとコミュニティのこれまでとこれから」

他、イベント含め多数開催



## 2. オリジナル商品・出版事業の立ち上げ

若手・中堅作家を中心に企画展と合わせて、作品集の出版事業を開始。キーホルダーやステッカー等オリジナル商品も同時にデザインし、原画等と合わせて全国のアートスペースやブックストアで巡回展を開催するに至りました。今年度は東京アートブックフェア2019、台北アートブックフェア(草率季)へも出展し出版物の国内外の販路を開拓しています。

## 3. 出版イベントや地域コミュニティに向けたイベント開催

アート・デザインに関心が低い層や、地域コミュニティに向けたイベントも積極的に開催し、来店動機を増やす機会づくりに努めています。絵本や料理本、地域づくりに関する書籍の出版記念イベントやワークショップを開催。



「鯨の目」大小島真木 2019



「眺めのいい近所」池田光宏 2019



「それはまたべつのはなし」fancomi 2018



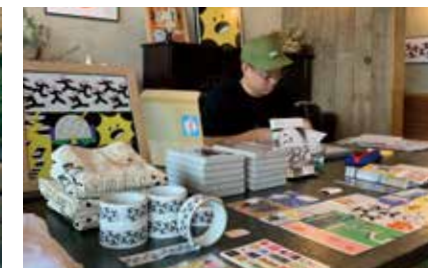
「KAIJIN 40」谷端実 2018



「KAIJIN」キーホルダー 2018



「それはまたべつのはなし」@READAN DEAT(広島)



「それはまたべつのはなし」@葉日(松本)